



# 第49回シグナル伝達医学 グローバルCOE学術講演会

日時：2011年10月7日（金）15：30～

場所：外来診療棟6F 小児科医局内  
遠隔医療室



## 小島 研介 先生

Visiting Associate Professor  
Section of Molecular Hematology and  
Therapy, Department of Leukemia,  
The University of Texas  
M.D. Anderson Cancer Center

## 米国における抗がん剤開発

<要旨>

米国で1つの新薬が患者に使えるようになるまでには、およそ10-15年の年月と、1000-5000人のボランティア、1兆円の費用がかかるとされます。一方で、臨床試験をおこなった抗がん剤が最終的に認可に至る可能性は5%とかなり低いので、新薬開発はビジネスとして「うまみのある話」ではありません。しかも、新薬の特許切れとジェネリック医薬品の台頭によって、製薬企業にとって新薬開発への投資はますます困難になっています。新薬開発のブレーキは、不治の病を不治のまま放置することになり、すなわち医療の停滞を意味します。そのような環境の中、米国で抗がん剤開発がどのように進められているかを紹介します。基礎医学研究の成果を臨床医療に結びつける研究を、トランスレーショナルリサーチといいます。現在ヒトではじめて臨床試験が開始されている薬剤（HDM2阻害剤）を例に、専門的になりすぎず、バイオマーカー探索など、トランスレーショナルリサーチの役割を出来るだけわかりやすくお話しします。

担当：消化器内科学分野 東 健（内線：6305）

連絡先：「次世代シグナル伝達医学の教育研究国際拠点」

シグナル伝達医学グローバルCOE事務局 担当・丸山

TEL：078-382-5370（5269） E-mail：gcoestm@med.kobe-u.ac.jp